

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定員に対する1日平均利用者数			目標値	100%以上	実績値	83.7%
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	88.7%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: %)	88.0%	92.7%	92.7%				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○ 全ての施設において定員以上の利用者を確保するとともに引き続きサービスの向上に努め、利用者の満足度向上に努めた。 ○ みどりのこども館「ウイズ」の通所率向上、「すばる」の利用者増に努めた。 ○ 新規に開設した「いんくる」、「きたまちハウス」の利用者確保に努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 新規に就労支援施設いんくるを開設し、既存施設のけやきから利用者が移行したため、けやきに欠員が生じたこと、ウイズやすばるの利用者がのびなかったことなどが、前年実績をも下回ってしまった主な原因だが、グループホームと大地を除く全ての施設で目標数値を下回っているため、広報や宣伝の見直しや利用者募集の見直し等の対応を検討したい。						
二次評価	定員割れ施設と定員オーバー施設との利用者調整を行うなどの工夫を検討すること。その際、利用者や家族の意向に配慮し、丁寧に対応すること。							
②	指標名	介護保険・自立支援費等収入の確保			目標値	850,000千円	実績値	831,069千円
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	97.8%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 千円)	772,076	786,145	822,148				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① いんくる、きたまちハウスといった新規施設の開設により利用者定員を増加させた。 ② 職員研修を充実させることにより、更なるサービスの向上に努めた。 ③ 感染症による施設の長期閉鎖を予防する為、職員、利用者の健康管理に努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 新規施設を開設し定員枠を増やしたが、年度途中だったため、自立支援費の収入増となる利用者増に結び付かなかった。居宅系施設においては、退所等による欠員が生じても新たな入所まで一定期間を要するため、利用者の空白期間が生じた。今後は、施設利用者の定員確保を年間を通じての目標とし、空白期間の短縮や利用者の募集を心がけたい。						
二次評価	年間を通じて定員確保を図るよう努力されたい。							
③	指標名	人件費率の縮小 (正規職員の抑制及び臨時職員の待遇改善と効果的な人事給与制度の確立)			目標値	68%	実績値	69%
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	98.6%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 千円)	68%	71%	69%				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 平成25年度は、新規事業を開始したため職員数が増加したが、それでも臨時職員の配置に努め、正規職員の増加を抑制に努めた。 正規職員の職員給与については、東社協の参考人事給与制度の改正に合わせて給与表を見直ししており、平成25年度についても減額改定をおこなった。 介護職員待遇改善加算を原資とした特別手当の支給は継続した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 新規施設開設に伴う職員増と、利用率低下にともなう収入見込未達成のため、人件費率の目標値には達しなかったが、平成26年度以降は収入増も見込まれることから、目標達成は可能と考えている。 また、ベテラン職員の昇給抑制や停止、今後の定年退職者の増加なども考慮すると、将来的には人件費率の更なる低下が見込まれる。						
二次評価	人件費率の縮小を進める一方で、人事評価とリンクした人事給与制度導入によりプロパー職員の意欲向上を図ること。							